



コスモスまつり (福田地区)



餅つき (駅前地区)



図書館応援隊

子どもたちへの読書活動の推進、談話室の運営、障がい者サービスの補助、環境美化、企画広報など、さまざまな面から図書館を支えています。



福崎町自律(立)のまちづくり交付金事業について

自治会が取り組む「まちづくり・地域づくり活動」に助成を行います。地域の「夢」に向かって、みんなで目標を定め、住民自らが活動に参加し、目標に向かって行動する自律(立)の力を育むことで、よりよい集落をつくることを目的としています。

神戸医療福祉大学との連携



公開講座や学生ボランティアなど、官学連携を行っています。今後も連携を進め、大学が持つ知識、技術、人材などの資源をまちづくりや町の活性化に活かしていきます。

学校支援ボランティア



子どもたちの学校生活や教育環境を支える活動を行っています。“地域につくられた学校の応援団”です。



国際食文化交流の会

町内在住の外国の方々をサポートしています。国や年代を越え、お国自慢の料理などを通じて楽しく交流しています。

ココロクラブ

活力ある地域づくり・環境づくりに取り組んでいるボランティアグループです。主に役場周辺道路の街路樹下の維持管理を行っています。



参画と協働で進める魅力あふれるまちづくり

自律(立)のまちづくりを基本に協働や連携による取り組みを進めています。地域や住民、大学や事業所など行政が情報の提供・共有を図りながら協働するまちづくりを進めることも、自治会をはじめとする活発なコミュニティ活動により、地域のつながりを深めるまちづくりに取り組んでいます。また、国際化に対応したまちづくりも進めています。

女性委員会



女性の豊かな感性や生活体験を通じた視点を町政に反映させています。

ふくさき日本語ボランティアの会



町内在住の外国人のみなさんに、日本語を教えたり、生活情報の提供を行ったりするボランティア団体です。誰もが暮らしやすいまちをめざし活動しています。

いずみ会

「私達の健康は私達の手で」を合言葉に、食育活動や地産地消の推進、おふくろの味の継承に取り組んでいます。



福崎町自治基本条例

福崎町のまちづくりに関わる町民・議会・町が力を合わせて、よりよいまちにしていくための基本的なルールを定めたものです。まちづくりがルール化されたことで、町民同士、町民と町とが協力して地域の課題を解決しやすくなるとともに、町政に参画する仕組みが整いました。町民のみなさんの意向を適切に反映した町政運営を進めています。

(平成25年7月施行)

福崎町自治基本条例には次の内容を盛り込んでいます。

前文 この条例を作る意義や背景など

1章 条例の目的や定義など

2章 町民・議会・町長等の役割

3章 町政運営の基本原則について

4章 参画と共同について

5章 国及び他の地方公共団体等との連携・協力について

6章 条例の見直しについて



フクちゃんサキちゃんクラブ 子どもたちの肥満予防と健康増進、体力向上を図ることを目的に、食育と運動を一体化させた活動をしています。

VIVA! 福崎 ごちそうサンバ



食育の大切さを広めるために誕生したPRソング。軽快なサンバのリズムに、親しみやすい歌詞、楽しい振り付けが特徴です。

食育かるた



食育がテーマのかるたです。栄養や健康、食事のマナー、福崎の食文化などが学べます。

食育

家庭はもとより、認定こども園、小中学校、地域（集落）、農業生産者など、食にかかわる関係機関・団体等が連携を強化して食育を推進。生涯にわたって健全な心身と豊かな人間性を育むまちづくりを進めています。

キッズふれあい健康喫茶



小学生が夏休みの「食の思い出づくり」として開店する喫茶店です。自分たちで料理して接客することで、特産品「もち麦」のことや、おもてなしのマナーについて学びます。

カヌー教室・アウトドア生活塾

ボランティアグループ「めだかの学校」が主催する野外活動（生活塾・教室）です。自然豊かな青少年野外活動センターと田口奥池を利用して行われ、毎年、多くの子どもたちが参加します。



就学前教育・保育

- 田原幼稚園 ○福崎幼稚園 ○姫学こども園
- 八千種幼稚園 ○高岡幼稚園 ○サルビアこども園

公立幼稚園4園と私立保育園2園は、平成27年4月に幼保連携型認定こども園へ移行。保護者のニーズにあった保育サービスの提供や3歳児からの就学前教育に取り組んでいます。



15歳未満

医療費無料

福崎町では15歳未満の子どもが病気やけがで医療機関等を受診した場合、医療費の自己負担を無料にしています。「乳幼児等医療」「子ども医療」の医療費無料制度で、子育て家庭の経済的負担を減らし、安心して子育てができることを目的にしています。



体験農園学習

営農組合の協力を得て、小学生と幼児が農作物の苗植えや収穫を体験します。農業のいろいろな役割を知り、食の大切さを学びます。

トライやる・ウィーク



事業所や地域の協力を得て、1週間、中学生が地域で職場体験をします。実体験を通して社会に関わることの大切さ、厳しさ、楽しさを学び、自分の進路や生き方について考える力を育みます。

福崎町子ども会球技大会



毎年夏の恒例行事。50回以上続く子ども会主催の球技大会です。地区ごとの予選会を勝ち抜いた代表チームがソフトボールとバレーボールで熱戦を繰り広げます。

ふくさき歴史体験隊



町内の小学5・6年生を対象にした体験活動です。文化財の見学や人々との交流、さまざまな体験を通して、郷土の歴史文化を学びます。

国際理解教育・ALT



ALT2名を配置し、小中学校における外国語活動や国際理解教育に取り組んでいます。毎年秋にはイングリッシュフェスティバルを開催。小中学生の英語への興味・関心を高めています。

子どもがこころ豊かに
すくすく育つまちづくり

こころ豊かなひとづくりをめざし、子どもから高齢者まで、すべての人が自己実現できる環境を整えるため、ゆとりや個性、心の豊かさ、生きる力を重視した教育・学習の場づくりを進めています。また、数多くの歴史的・文化的資源を活用して地域文化の振興を図るとともに、自然環境を生かした体験学習やスポーツ・レクリエーションの推進に取り組んでいます。

子育て

すきっぷひろば

絵本やわらべうたを楽しみながら、子育ての悩みを話したり情報交換をしたりする交流の場です。



川あそび



七夕会



子育て支援施設

0歳から就学前の子どもとその保護者や家族を対象に、安心して楽しく子育てができるようにサポートしています。

- 子育て支援センター
- 西部子育て学習センター
- 東部子育て学習センター



町ぐるみ健診

メタボリックシンドロームやがん・骨粗しょう症・歯周疾患等の早期発見、早期治療を目的に町ぐるみ健診を行っています。健康づくりの指標にもなっています。

健康・医療・福祉



生活・環境

福崎町消防団

兵庫県代表として全国消防操法大会に出場。「小型ポンプの部」で、第22回大会は優勝、24回大会は準優勝と優秀な成績を収めています。また、日本消防協会の最高栄誉である「まとい」を受章しています。

まとい

地域ふくろうの会

週に1回、身近な集会場や公民館で行われる介護予防のための筋力トレーニング教室です。「ややしんどい」くらいの運動量を目安に体操をします。

難聴者用磁気ループ

専用マイクで話した声を磁気に交換。専用の受信機や補聴器で受信することで音を聞き取りやすくするシステムです。マイクで話した声だけを伝えるため、より聞き取りやすくなります。

すべての人にとって住みよい、住み続けたいまちをめざし、一人ひとりの主体的な健康づくりの支援に取り組んでいます。食育や健康体操による健康づくりを広げるとともに、病気の早期発見・早期治療が可能な環境づくりや地域予防医療の充実にも努めています。また、「共に生きる社会づくり」をめざし、すべての人が生きがいを持ち、世代を超えて支えあひながら生活できる安心のまちづくりを進めています。

**だれもが安心して
健やかに暮らせるまちづくり**

ポールウォーキング教室

専用ポールを持ってウォーキングを行う運動教室です。ポールを持つことで正しい姿勢で歩くことができ、通常より高い運動効果が期待できます。

ふれあい喫茶

お茶やお菓子を食べながらおしゃべりする住民主体の活動です。公民館で集落ごとに行っています。高齢者の精神面での介護予防に役立ち、高齢者との交流の場として地域づくりに貢献しています。

消費者の会

食の安全や環境問題、子育て支援などをテーマに、より安全で安心な暮らしを推進する啓発活動を行っています。

街頭防犯カメラ

神崎郡内の犯罪予防と学童の見守り活動を目的に、福崎防犯協会が企業・団体からの賛助金で設置しています。

太陽光発電

省資源・省エネルギー対策として、公共施設に太陽光発電設備を設置。リフォーム時の個人住宅にも補助金制度を設けています。再生可能エネルギーの導入による環境負荷の低減に取り組んでいます。

良好な環境と安全な暮らしを守るまちづくり

環境保全や循環型社会の形成など、自然と共存する生活環境づくりを進めます。また、災害危険箇所の改修整備や自主防災組織による防災活動と、行政・住民・各種団体が一体となった防犯活動による安全なまちづくりが進んでいます。また、情報提供や教育の充実による消費者意識の向上と消費者団体活動の活性化を進めています。

消費者相談（出前講座）

商品やサービスなど、消費生活全般に関する相談に専門の相談員が対応しています。

交通安全街頭キャンペーン

交通安全運動期間に福崎警察署や福崎町交通安全対策会議のみなさんが、街頭でドライバーに安全運転を呼びかけます。また、各小学校で交通安全教室を開催しています。



**福崎町老人
グラウンド・ゴルフ大会**

毎年秋に行われる恒例のグラウンド・ゴルフ大会です。みんなで共に積み重ねた練習の成果を、チーム一丸となって発揮する場です。



水防訓練

消防団員と町職員が小隊を編成し、水防工法の実践訓練を行います。知識と技術を習得するとともに防災意識を高め、災害から地域を守ります。





福島駅周辺整備

「訪れやすく 住みやすいまち」の中心として、JR福島駅周辺の整備を行います。駅前広場をにぎわいのある空間となるよう整備するとともに、新たに観光交流センターを設置。福島の観光情報を発信します。また、都市計画道路福島駅田原線の整備を進めて、商業施設を誘致。駅周辺の活性化につなげます。

写真/整備予定地(平成27年10月撮影)

まちの基盤



福島工業団地・福島企業団地
(用地面積約90ha)



福島町東部工業団地
(用地面積約20ha)

古くから交通の要衝として栄えてきた福島町には、利便性・将来性・経済性に優れた工業団地が3カ所あります。福島工業団地・福島企業団地では、用地面積約90haに現在36社が、福島町東部工業団地では用地面積約20haに現在9社がそれぞれ操業しています。操業中の企業すべてと公害防止協定を締結。環境や景観に配慮したまちづくりを推進し、従業員はもちろん住民にも優しい工業団地(インダストリアルパーク)を形成しています。



旬彩蔵 福島

JA兵庫西直売所「旬彩蔵」では、地元・近隣生産者が四季を通じて新鮮な農産物を安価で販売し、多くの人でにぎわっています。商品にはすべて生産者と生産地を記載。安心して購入できます。

地産地消による産業の振興と

活力あるまちづくり

安定した農業経営を確立するため、生産基盤の整備や営農組織など担い手の育成を図るとともに、安全で高品質な農産物が提供できる農業を支援しています。また、商工会との連携を強化。商業経営の充実を図る一方、工業団地企業との技術・情報・人的交流を促進し、町内企業の育成を支援します。さらに、自然や歴史・文化、農作物や加工品の活用を進め、観光・交流の振興も図っています。

地元特産品もち麦の振興



もち麦生産組合

4戸の個人農家と6つの営農組合が所属し、約40haの田でもち麦を栽培しています。長年の経験と卓越した技術、熱い思いで産地を支えてきました。組合には3つの加工グループも所属しており、商品開発などを行っています。

もち麦産地振興協議会

「もち麦の恵みで、みんなが元気!」の理念のもと、もち麦の価値を高めるため、さまざまな団体が集まって、平成25年6月に設立されました。福島町のもち麦を多くの人に使っていただけるよう、生産性の向上ともち麦を活用した地域の活性化に取り組んでいます。

もち麦栽培の様子

中島井ノ口線



平成24年に全線開通した、国道312号と県道三木穴栗線、町道東大貫溝口線を結ぶ南北幹線道路です。交通の円滑化や福島インターチェンジへのアクセス向上により、経済活動の活性化に繋がっています。

JR播但線



町民の通勤・通学の足を支える播但線。福島駅から姫路駅間を約26分(普通)で走り、福島駅では年間約617,000人(平成26年)が乗車しています。

庁舎耐震工事



大震災等が発生した場合も公共施設として機能するよう、安全性を確保する工事を実施。耐震強度を向上させ、非常用電源装置も設置しています。

中国縦貫自動車道/播但連絡道路



町内に中国縦貫自動車道と播但連絡道路が交差するインターチェンジがあり、東西南北に通じる交通の要衝として発展しています。

サルビア号

まちなかを巡回する「まちなか便」と、郊外とまちなかをつなぐ「郊外便」を運行。公共施設や病院、商店、金融機関などと各集落をつなぐコミュニティバスです。今後は路線再編を検討し、福島駅などへの交通結節点機能の強化を図ります。



利便性と快適性を備えた
住みよいまちづくり

姫路市近郊という立地・交通条件の良さや豊かな自然と歴史・文化を有するまちの特徴を生かしながら、良好な市街地の形成をめざしています。美しい景観や文化の薫るまち並みの保存、JR福島駅周辺の整備、市街地発展を支える幹線道路体系の整備など、便利で快適な住みよさを重視した基盤づくりを進めています。

